整理番号１５

実　施　年　度　令和２年度（事業期間　令和２年１０月～令和３年３月）

事　　業　　名　大規模災害や新型コロナ危機を契機とした「公共土木施設等社会インフラのあり方」に関する調査

提　　案　　者　大子町

課題及びねらい

町では、人口減少や中心市街地の活性化等のさまざまな課題があるなか、令和元年台風19号による浸水被害をふまえた防災機能の強化や、新型コロナ感染拡大による生活スタイルの変化に応じた社会インフラの整備が課題となっており、まちの将来像や施策の方向性を検討するための協議会組織の立ち上げ、幅広い視点からの検討や課題整理にかかる町の取り組みを支援し、将来ビジョンの策定に向けた検討を行う。

期待される効果

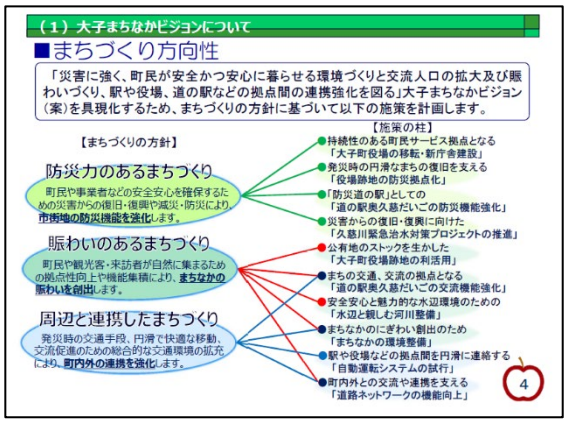
・災害に強いまちづくりの実現

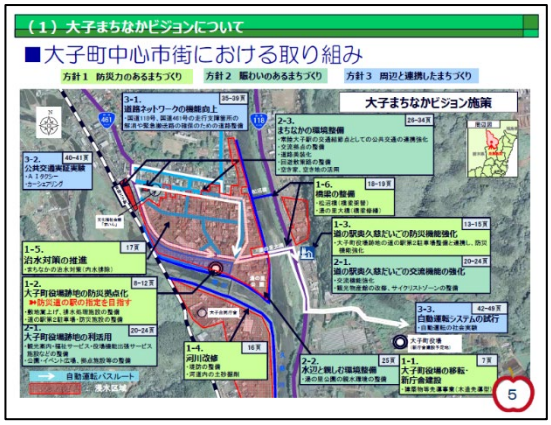
・「新しい生活様式」に対応した賑わいのあるまちづくりの実現

実　施　概　要

・「大子まちなかビジョン推進協議会」設立運営を支援

・協議会での意見を基に「大子まちなかビジョン」を作成





検　証　結　果

・県及び町が行政機関としての役割を果たしつつ、大子町にかかわる人々の意見を反映した災害に強く賑わいのあるまちづくりの実現に向けた計画となるビジョンを取りまとめることができた。